



地域未来共創Searchファンドへの出資について ～事業承継支援強化に向けた取組み～

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、株式会社山口フィナンシャルグループ出資先の山口キャピタル株式会社（本社：山口県山口市小郡下郷1229番地6 代表取締役 古堂 達也）が組成したサーチファンド「地域未来共創Searchファンド投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」）に対する出資契約（LP¹出資）を締結しましたので、お知らせします。

サーチファンドとは、「サーチャー」と呼ばれる、大手事業会社での実務経験やMBAなど多彩なバックボーンを持つ経営意欲・起業意欲のある若者に投資をし、サーチャーが経営者となり企業のバリューアップを図る米国発祥の投資モデルで、事業承継最大の課題である“人”と、株式の引受、即ち“資金”をセットで解決する、事業承継の新たな解決方法です。

社会問題化している事業承継課題の解決と、社会に「経営者」というキャリアパスを提供する取組みとして、日本でも近年注目されています。

当行は、経営理念に掲げる「お客さま・地域社会との共存共栄」の実現に向けて、中小企業の後継者不足をはじめとする地域・社会課題への解決に資する取組みを通じて、持続可能な地域社会の実現と当行の企業価値向上につとめてまいります。

本ファンドの概要

名称（英文名）	地域未来共創Searchファンド投資事業有限責任組合 (Regional Future co-creation Search Fund Investment Limited Partnership)
設立日	2022年2月25日
運営会社（GP）	山口キャピタル株式会社
出資約束金額総額	35億円以上（※本ファンドへの出資に合意している地域金融機関を含む、2023年3月まで追加出資を募集）
投資対象企業	LP出資取引先を中心とした、後継者問題を抱える中小・中堅企業
投資金額	1件あたり出資約束金額総額の30%を上限とする
運用期間	2022年2月～2032年12月（投資期間：2022年2月～2027年12月） ※LPの同意を得た場合、最大3年間延長可能

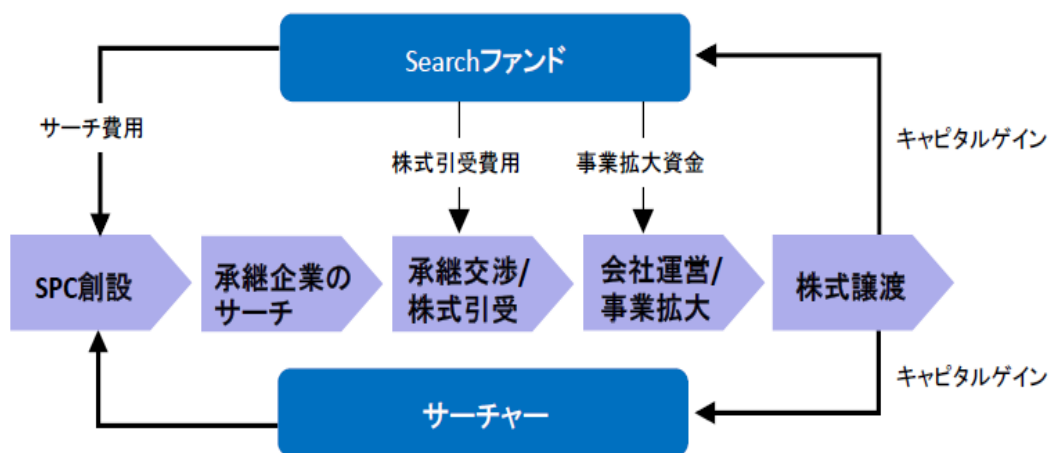
以上

¹ LP（リミテッドパートナー）は、ファンドの資金出資者であり、その責任が出資した金額のみに制限される有限責任組合員。

【一般的なサーチファンドのスキーム】

- ① 事前にファンド運営会社（GP²）がサーチャーを探索
- ② 企業探索に必要な費用をサーチャー設立のSPC³へ投資。承継企業が決定後、SPCへ株式買取資金を投資
- ③ 事業承継が成立した後、サーチャーは承継した企業の経営に専念
- ④ 通常5～7年かけて企業価値を向上させたのち、サーチャーによる全株式買取等により、事業承継完了

一般的なSearchファンドによる承継の流れ



²GP（ジェネラル・パートナー）は、ファンドの業務執行全般を行い、ファンドの債務について出資額にとどまらず弁済義務を負う無限責任組合員

³SPC（特別目的会社）は、M&Aにおいて金融機関からの借入や出資を伴う場合に、対象企業の買収主体としての目的で設立される法人。対象企業買収後は対象企業と合併されることが多い。